



# Book Review

評者:福岡公香 愛知県立総合看護専門学校  
愛知県看護研修センター

## 看護学生が身につけたい 論理的に書く・読むスキル

著:福澤一吉/定価:本体2,200円+税/  
発行:医学書院/TEL:03-3817-5657



## 思考の道具を用い、論理的に書く・読むスキルの向上へと導く書

本書のタイトルに「看護学生が身につけたい」とあるが、私は看護教員にもこの本を読んでいただきたいと思う。その理由は、看護教員自身が論理的に読み書きすることを学んでいないという現状があることと、本書には論理的に読み書きするための思考の道具がわかりやすく書かれていることの2点である。

私は専任教員養成講習会の運営を担当するなかで、受講生である看護教員から「論理的に書くことを学習したことがないので自信がない」という話をよく耳にした。また、「自分の考えが相手に伝わらないが、どこに問題があるのかわからない」「接続詞をどのように使ったらいいのか」といった悩みを聞くことも多かった。このように、書くことに苦手意識をもっている看護教員は多いのではないだろうか。実際、看護教員が論理的に書くことを学ぶ機会は少ないし、おそらく「論理的に書く」ことができると自信をもって言える看護教員は多くないであろう。

論理的に書くことを学習してきた看護教員が少ない現状をふまえ、愛知県教務主任養成講習会では「論理的思考」という科目名で、本書の著書である福澤一吉先生に講義をしていただいた。福澤先生の講義は「論理」という苦手意識をもちやすい内容を、具体的でわかりやすい説明と演習で理解を深めてくれるものであった。受講した看護教員も頭をフル回転させながらも楽しそうに参加していた。その講義

内容がそのまま文字として表現されたのが本書の基礎編である。本書は、基礎編と応用編で構成されている。基礎編には「論理・論証とは何か」「接続表現」「論理的に考える方法」「論証を図で示す」という論理的に思考するための道具について書かれている。応用編には、基礎編での道具を使って「論理的に書く」「論理的に読む」ことが書かれている。本書を読むことで、自分の考えが相手に伝わらないのは、正しい論証でない、論拠が曖昧、複雑な論証図となっている、といった原因があることがわかると思う。また、どの接続詞を使うのが妥当か考えるために、本書が欠かせないことも実感するはずである。

本書で福澤先生は、論理的に書けるようになる・読めるようになるにはトレーニングが必要である、と言っている。本書を読んだだけで論理的に書くこと・読むことができるようになるわけではない。しかし、論理的に書く・読むために必要な思考の道具が書かれている本書を手にながら、書くこと・読むことを続けていけば、論理的に書くこと・読むことのスキルが身につくであろう。しかも、本書には章ごとに練習問題がついている。この練習問題を行えば、その章の内容の理解を深めるとともに、トレーニングもできる。看護学生はもちろん看護教員にも、ぜひ手にしていただきたい本である。